2024 京都大学（前期）世界史　解答例

【解答例】

Ⅰ

豊臣秀吉の朝鮮侵略をうけ，宗主国の明は朝鮮に援軍を送った。満洲人の清が朝鮮を服属させ，滅亡した明に代わって中国全土を支配した。朝鮮は清の冊封を受けた一方で清を夷狄とみなし，朝鮮こそ中華文明の正統な継承者であるとする小中華思想が強まり，儒教規範を固守した。19 世紀に日本が朝鮮に進出し，日朝修好条規で朝鮮が開国すると，清は宗主権の維持をねらい朝鮮に干渉した。壬午軍乱に介入して閔氏を支援し，日本と結んだ開化派が甲申政変を起こすと，清軍が鎮圧した。朝鮮をめぐる対立から起こった日清戦争で日本が勝利すると，下関条約で清が朝鮮の独立を認めて宗主権を放棄した結果，朝鮮は独立国と示すために国号を大韓帝国と改めた。

(300 字)

Ⅱ

A　a－　衛氏朝鮮　　b－　楽浪　　c－　黄巾

d－　永嘉　　e－　拓跋

(1)（ア）康熙帝（康熙帝）

(1)（イ）アイグン条約

(2)（ア）司馬遷

(2)（イ）冒頓単于

(3) 趙　　(4) 郡国制　　(5) 司馬炎

(6) 安史の乱

(7)（ア）太武帝

(7)（イ）平城

B　f－　セリム１世　　g－メディナ

(8) アチェ王国　　(9) マリ王国　　(10) イクター制

(11) ファーティマ朝　　(12) ナセル　　(13) アッバース１世

(14) ムハンマド＝アリー朝　　(15) サダム＝フセイン　　(16) キュロス２世

(17) オランダ　　(18) チョーラ朝　　(19) ヤークーブ＝ベク

(20) カラハン朝

代々木ゼミナール

Ⅲ

ローマ帝国の東西分裂後，イスラーム勢力の支配を免れたローマ教会とコンスタンティノープル教会が，首位権をめぐり対立した。ビザンツ皇帝レオン 3 世が聖像禁止令を出すと，ゲルマン人布教に聖像を用いたローマ教会は反発し，東西両教会は対立した。ビザンツ皇帝に代わる保護者を求めたローマ教会はフランク王国に接近し，教皇がピピンのフランク王位継承を認めた返礼に，ピピンはラヴェンナ地方を教皇に寄進し，教皇領の起源となった。西欧の大半を支配したカール大帝に教皇レオ 3 世はローマ皇帝の冠を与え，ローマ教会はビザンツ皇帝から自立した。その後 11 世紀に東西両教会は相互破門してローマ＝カトリック教会とギリシア正教会に分離した。

(300 字)

Ⅳ

A　(1) 植民市　(2) ヘロドトス　(3) アウグストゥス（オクタウィアヌス）
(4) ミラノ勅令
(5) (ア) ハギア＝ソフィア聖堂
(5) (イ) 軍管区制（テマ制）
(6) ラテン帝国　(7) ティムール　(8) ヤゲウォ（ヤゲロー）朝
(9) ロマノフ朝　(10) スウェーデン　(11) セヴァストーポリ
(12) プロイセン
(13) (ア) サン＝ステファノ条約
(13) (イ) ビスマルク

B　a－　ブルガリア帝国（ブルガリア王国）　b－　ライプニッツ
(14) 父なる神，子なるイエス，聖霊の三者を同質かつ不可分とする説。
(15) (ア) フス
(15) (イ) ウィクリフ
(16) イサベル　(17) リンネ　(18) フランス
(19) ムッソリーニ　(20) アカデミー＝フランセーズ
(21) ヴォルテール　(22) ラインラント　(23) 1960 年
(24) アレクサンドル 2 世　(25) ケロッグ

代々木ゼミナール